

平成30年度 学生災害ボランティア・ネットワーク事業 参加者募集のご案内

阪神・淡路大震災を経験した兵庫県の学生として、日常的な地域福祉や社会支援と災害支援とが連続性を持っていることを学び、近年の被災地域（熊本県益城町、宮城県名取市）での支援活動を現地の支援者とともにを行います。この活動を通して、主体的・自発的にボランティアや社会活動に取り組む姿勢、被災地支援・復興支援や今後の災害に備える力を身につけます。さらに、兵庫県の大学生が中心となって、被災地をはじめとする各地とのネットワークづくりを目指します。



事業目的

災害支援を活動テーマに位置付け、「自発性を持ち、社会的ニーズに対して活動する」というボランティアの原点に立ち、自ら課題を見つけ協働していくことを学びます

活動期間

平成30年 **5月19日(土)** ～ **10月6日(土)** (予定)

- ・「宮城県での活動」8月25日(土)～27日(月) (2泊3日)
- ・「熊本県での活動」9月7日(金)～10日(月) (3泊4日うち車中2泊)

※スケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

※全プログラムへの参加を前提としますが、事情により難しい場合はご相談ください。

参加費

無 料 (食事代等の実費は**自己負担**となります)

応募条件

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学の学生

応募締切日

平成30年 **4月30日(月)** まで

募集人数

40名程度 ※**書類選考**を行います。選考結果は、後日ご連絡します。

応募方法

大学コンソーシアムひょうご神戸 HP よりお申込みください
<http://www.consortium-hyogo.jp/>



主催

大学コンソーシアムひょうご神戸、ひょうごボランタリープラザ
神戸市社会福祉協議会、日本財団学生ボランティアセンター

お問合せ先

大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会 ボランティア事業事務局
(甲南大学 地域連携センター事務室 松下・村田)
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1
TEL : 078-435-2276 Mail : conso-volunteer@adm.konan-u.ac.jp



Let's make together

今、参加を迷っているあなた！
参加しなければ気づけないことがあります。

学生生活で今しかできない経験をする
チャンスです！ぜひご応募ください。



平成 30 年度 学生災害ボランティア・ネットワーク事業 (予定)

■ 第 1 回 オリエンテーション&第 1 回研修会

〔日時〕 5月19日(土) 13時00分~17時30分 〔場所〕 ひょうごボランタリープラザ セミナー室

■ 第 2 回 第 2 回研修会&チームミーティング

〔日時〕 5月26日(土) 13時00分~17時00分 〔場所〕 人と防災未来センター・兵庫県立大学

■ 第 3 回 第 3 回研修会&チームミーティング

〔日時〕 6月2日(土) 13時00分~17時00分 〔場所〕 こうべ市民福祉交流センター

■ 現地ヒアリング 熊本県及び宮城県 (代表者のみ)

〔日時〕 6月16日(土) ~17日(日)

■ 第 4 回 第 4 回研修会

〔日時〕 6月30日(土) 9時00分~17時00分 〔場所〕 丹波市内

■ 第 5 回 現地ヒアリング報告会&チームミーティング

〔日時〕 7月7日(土) 13時00分~17時00分 〔場所〕 甲南大学

■ 第 6 回 チームミーティング

〔日時〕 8月3日(金) 13時00分~17時00分 〔場所〕 甲南大学

■ 現地でのネットワーク活動 (①または②のどちらか一方に参加)

①宮城県 〔日時〕 8月25日(土) ~ 8月27日(月) 2泊3日

②熊本県 〔日時〕 9月7日(金) ~ 9月10日(月) 3泊4日 (うち車中2泊)

■ 第 7 回 振り返りの会&修了認定式

〔日時〕 10月6日(土) 14時00分~17時00分 〔場所〕 ひょうごボランタリープラザ セミナー室

※スケジュールは先方との調整により変更になることがあります。

※スケジュールについて質問があれば、表面事務局までお問い合わせください。

Q & A

Q1.一人での参加が不安です…

A1.一人でも大丈夫です！昨年度の参加者の多くが、一人での参加でした。また参加者である他大学の学生はもちろん、ボランティア受入先の方とも会話できる機会が多く、逆に人脈を広げることができます。学生スタッフを中心にとても話しやすい雰囲気ですので、仲間も増えます！

Q2.授業、就活、部活、バイト等と両立できるか不安です…

A2.昨年度も多くの学生が両立して活動に参加しました。ミーティングに参加できないときは、チームや学生全体で情報共有し、お互いに助け合いながら活動しました。

Q3.この事業へ参加することでどんな力が身につきますか？

A3.自分の考えを発言し議論する機会が多いので、お互いを尊重、理解しながら一つの目的を達成する力が活動を通して身につきます。また自分には、今何が出来るのか考え、具体的に行動することの大切さも、ボランティアを体験することによって学ぶことができました。